

社会福祉法人 黒松内つくし園 老人福祉施設

慶 和 園



養護ユニット 2022年 新年会 & 正月遊び “今年はタラ鍋で舌づつみ..”

養護ユニットでは1月25日に新年会を開催致しました。昨年に引き続き様々な行事が自粛を余儀なくされるなか、新年を迎えた喜びをご利用者・職員一体となり分かちあいたい、という皆さんのがいがたちになりました。今年はご利用者からリクエストの多かった「鰯（タラ）鍋」を用意しました。感染症対策もしっかり行いながら、各テーブルに職員が同席。ご利用者の皆さんと美

味しくできあがった鰯鍋を囲み、昔話に花をさかせました。普段は食の細いご利用者もこの日はおかわりをして召し上がる等、笑顔で新年のひと時を過ごすことができました。 養護ユニット支援員 田井中 剛



ペトナム 技能実習生 フエンさんが成人式で交流

1月9日京極町では成人式を開催。慶和園からは3名の職員が成人の門出をお祝いしました。中でもペトナムから来園の技能実習生ブイ・ティ・ミン・フェン職員（20歳）にとって、振り袖（慶和園職員より貸与）の着付けに髪結いの日本文化に触れる良い機会となりました。フェンさんは「少し緊張したけど、皆さんのおかげで良い経験をすることができました。同年代の皆さんにお会いでき嬉しかったです。」と感激していました。ご配慮いただいた町民の皆様にこの場をお借りして感謝申し上げます。



梅田町長(右)、中村教育長と一緒に
※感染予防策を講じた上で、撮影時のみマスクを外しています。

総勢 28名の成人が集いました

三度、感染症対策にて直接会えなくても・・・ ご利用者との大切なつながりにご協力を!!

1月中旬より後志管内においても新型コロナウイルスの感染が広がり、近隣町村でもクラスターが発生し猛威を奮っております。慶和園においても1月19日よりご利用者への面会はリモート対応に切り替え、地域活動（ちょこっと体操・園内ボランティア活動など）については、まん延防止重点措置の終了（2月20日）まで順延しているところです。心配されることは、ご利用者の精神的なご負担です。家族や地域の皆さんとの大切な交流（つながり）が断たれることで体調を崩されてしまうことを懸念しています。ご家族、ご友人の皆様におかれましては、短い時間でかまいませんのでリモート面会、お電話での交流についてご配慮いただく事のご協力をお願いいたします。※リモート面会については、事前に日程調整（事前予約：42-2201）をお願いしています。皆様と一緒にこの大変なときを乗り越えて参りましょう！



-慶和園運営方針-

- ・慶和園はひとつ。ご利用者・職員で慶(喜)びの和を大切にします。
—私たちは、チームでご利用者の想いを実現させます—
- ・慶和園は一人ひとりを大切にします。
—私たちは、自分以外の全ての人に真心をもって親切丁寧に接します。
- ・慶和園は地域とのつながりを大切にします。
—私たちは、地域における役割りを理解し信頼を得られる行動をとります。

『慶和園だより』NO.253 令和4年2月10日発行

〒044-0132 虹田郡京極町字更進780番地1

TEL(0136)42-2201 FAX(0136)42-2209

編集発行：老人福祉施設 慶和園 広報委員会

※「慶和園」だよりに掲載の個人情報は、ご本人もしくは、ご家族様の許可を得て使用させて頂いております。



“美味しくお雑煮を
いただく、その前に”

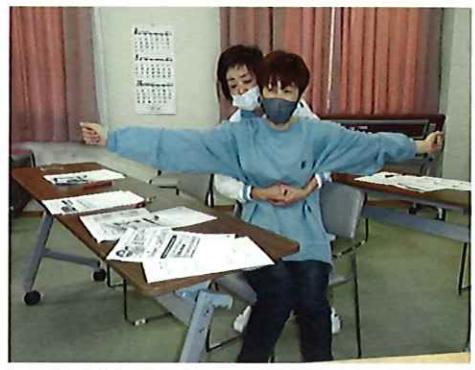
「喉つまり勉強会」を行いました。

厚生労働省によりますと、年間約3500件の喉つまりの死亡事故があり、中でも80歳以上の死亡事故は2500件以上です。餅を食べる機会が多い1月に多数発生し、特に正月三が日に多いことが分かりました。慶和園では12月と1月の初旬の2回に分けて喉つまりの勉強会を行っています。本園看護師の下村看護師、松山看護師を講師



に迎え、高齢者の嚥下機能など基本事項の確認をした後、喉つまりを起こした時の異

物除去法『ハイムリック法』(腹部突き上げ法)と『背部叩打法』の練習を実践しました。実際に喉つまりが起った



時のことと想定して、みんなで意見を出し合い『応援を呼ぶ→入れ歯を外す→口腔内の食べ物の除去→ハイムリック法・背部叩打法→吸引器による除去→119番通報』とシミュレーションを行いました。看護師による過去の事例発表には、真剣な表情で聞き入っていました。

新任職員にQ&A

たきざわ きみこ
滝澤君子 看護師

Q1 出身地は?

A 長野県です。

Q2 趣味や特技は?

A 自然が好きです、特に植物、花が好きです。

Q3 幸せだなあ~と感じる時はいつ?

A 美味しく食べ安心して眠れる時です

Q4 好きな言葉や格言は?

A 優しい事は強い事。

Q5 最後に一言

A 施設で働くのは初めてです、皆様と楽しく過ごしていきたいと思っています。よろしくお願ひいたします。



【ご厚志に感謝いたします。】

1月1日～31日分 《敬称略》 順不同

【寄付品】 中村小夜子(俱知安町) - 山田英男(同) - 佐藤元子(同) - 島谷一(同) - 大木容子(京極町) - 南京極郵便局(同) - 鈴木恵一(同) - 京極町社会福祉協議会(同) - 鈴木晃(同) - 氏家記見江(札幌市) - 中井聖建設株式会社(同) - 三田地留美(余市町) - 横山紀美貴(苫小牧市) - 中川さち子(伊達市)

以上

【2022年2月8日～2021年3月15日の行事予定】

2月8日 料理サークル

3月8日 書道サークル

10日 養護ご利用者新型コロ

ナワクチン接種(3回目)

18日 養護:ご利用者との懇談会

21日 出張理容(サロンドシエル)

25日 活花サークル

28日 出張理容(竹山美容室)

☆2月20日以降、地域での新

型コロナウイルス感染症の流

行状況に応じて、地域交流活

動の再開や面会制限の緩和な

ど柔軟に対応して参ります。

コロナ禍においても、春を呼ぶ!
節分、無病息災を願って



2月3日は節分。今年は地域での新型コロナ感染拡大の影響もあり、全体での豆まきは行えませんでしたが、年男年女のご利用者・職員6名が縁起物の豆と菓子類、甘酒を各ユニットご利用者の元へお届けしました。

当日は、袴(かみしも)を身にまとった寅年の皆さんのがホール神棚の下に集合。全員でお参りの後、各ユニットを巡り、各ご利用者に声をかけながら無病息災を祈願しました。一日も早くコロナが収まってくれるといいですね。



～相手の心を想う～ 副施設長のつぶやき

2021年度も残り2ヶ月を切りました。慶和園では2月22日に各ユニット、部署、委員会の年間振り返りを行います。

「ご利用者のために宣言」というテーマを基に、1年間頑張ってきたことをしっかりと振り返りたいと思います。コロナに翻弄された1年ではありましたがあからこそ新たに挑戦してきたこともあります。

【進化と深化】次年度に向け、より深く「ご利用者のためになることは何か?」ご利用者の心に寄り添った新たな試みを見つける会議をしたいです。

副施設長 山中 幸代